

平成30年度決算公告

札幌市中央区大通西5丁目1番地2
常口セーフティ少額短期保険株式会社
代表取締役 萩野 克己

平成30年度(平成31年3月31日現在)貸借対照表

常口セーフティ少額短期保険株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
現金及び預貯金	536,208	保険契約準備金	77,579
現 金	547	支払備金	3,214
預 貯 金	535,660	責任準備金	74,364
有形固定資産	3,892	代理店借	45,134
建物付属設備	3,505	再保険借	82,600
その他有形固定資産	387	その他の負債	57,937
無形固定資産	591	未払法人税等	752
ソフトウェア	562	未払費用	2,324
その他	28	預り金	1,170
代理店貸	-	賞与引当金	2,000
再保険貸	89,020	前受収益	51,690
貸倒引当金	△180		
その他の資産	77,926	負債の部合計	263,251
未収金	53,738	(純 資 産 の 部)	
前払費用	21,463	資 本 金	50,000
預託金	2,725	利益剰余金	455,201
		(その他利益剰余金)	(455,201)
		繰越利益剰余金	455,201
		自己株式	△39,220
繰延税金資産	10,773	(株主資本合計)	465,981
供託金	11,000	純資産の部合計	465,981
資産の部合計	729,232	負債・純資産の部合計	729,232

平成30年度

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

損益計算書

常口セーフティ少額短期保険株式会社

(単位:千円)

科 目	金 額
経常収益	1,413,870
保険料等収入	1,367,836
保険料	727,588
再保険収入	640,248
回収再保険金	175,307
再保険手数料	419,582
再保険返戻金	45,358
責任準備金等戻入額	44,193
責任準備金戻入額	44,193
支払備金戻入額	-
その他経常収益	1,841
経常費用	1,316,972
保険金等支払金	923,488
保険金	184,534
解約返戻金	47,745
再保険料	691,208
責任準備金等繰入額	513
責任準備金繰入額	-
支払備金繰入額	513
事業費	392,970
営業費及び一般管理費	387,823
税金	3,563
減価償却費	1,882
賞与引当金繰入額	△300
その他経常費用	-
経常利益	96,898
税引前当期純利益	96,898
法人税及び住民税	14,052
法人税等調整額	12,310
当期純利益	70,536

【貸借対照表の注記事項】

- 有形固定資産の減価償却は定率法(ただし、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物は定額法)、無形固定資産の減価償却は定額法を採用しております。
なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年)に基づいて償却しております。
- 貸倒引当金は債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について税法の法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しております。
- 賞与引当金は、役員賞与および従業員の賞与に充てるため、支給見込額を基準として計上しております。
- 消費税等の会計処理方法は税込み方式を採用しております。
- リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、契約金額が300万円未満のため、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- 有形固定資産の減価償却額累計額は8,044千円です。
- 繰延税金資産の総額は10,773千円で、その内訳は普通責任準備金として9,967千円及び賞与引当金等によるものであります。
- 支払備金の内訳は、次のとおりであります。

支払備金(出再支払備金控除前)	64,296千円
同上にかかる出再支払備金	61,081千円
差引	3,214千円
- 責任準備金の内訳は、次のとおりであります。

普通責任準備金	63,087千円
異常危険準備金	11,277千円
合計	74,364千円
- 貸借対照表に計上した固定資産のほか、事務機器の一部については、所有権移転外ファイナンスリースにより使用しております。
- 金融商品に関する注記
 - (1)金融商品の状況に関する事項
当社は、資金運用については短期的な預金等に限定しております。
代理店貸等にかかる信用リスクについては適切に管理しリスク軽減を図っております。
 - (2)金融商品の時価等に関する事項

(単位:千円)

	貸借対照表計上額	時 価	差 額
現金および預金	535,660	535,660	—
代理店貸	—	—	—
再保険貸	89,020	89,020	—
未収金	53,738	53,738	—
代理店借	(45,134)	(45,134)	—
再保険借	(82,600)	(82,600)	—

- ①負債に計上されるものについては、()で示しております。
- ②これらの金融商品はいずれも短期で決済されるため、時価は簿価にほぼ等しいことから当該帳簿価格によっております。
- 1株あたりの純資産額は1,792,234円82銭です。
算定上の基礎である純資産の部の合計額及び普通株式に係る当期末の純資産額は、いずれも465,981千円、1株当たり純資産額の算定に用いた当期末の普通株式の数は260株であります。
- 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

【損益計算書の注記事項】

- 正味収入保険料の内訳は以下のとおりであります。

保険料	727,588千円
再保険返戻金	45,358千円
小計(イ)	772,946千円
再保険料	691,208千円
解約返戻金等	47,745千円
小計(ロ)	738,954千円
差引(イーロ)	33,992千円
- 正味支払保険金の内訳は以下のとおりであります。

保険金等	184,534千円
回収再保険金	175,307千円
差引	9,226千円
- 支払備金繰入額(△は支払備金戻入額)の内訳は、以下のとおりであります。

支払備金繰入額(出再支払備金控除前)	10,271千円
同上にかかる出再支払備金繰入額	9,757千円
差引	513千円
- 責任準備金繰入額の内訳は、以下のとおりであります。

当年度普通責任準備金(イ)	63,087千円
前年度普通責任準備金(ロ)	108,188千円
異常危険準備金繰入額(ハ)	907千円
差引(イ)－(ロ)＋(ハ)	△44,193千円
- 1株あたりの当期純利益は271,294円19銭です。
1株あたりの当期純利益の算出には、期中平均発行済株式数(1,000株)から期中平均自己株式数(740株)を控除した260株で算出しています。
- 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。